

【平成 26 年度・前期学期・ミクロ経済学Ⅰ・課題 4】

☆ 平成 27 年 1 月 6 日 もしくは 1 月 7 日講義開始時締め切り

【問 1】今、ある財の市場において需要関数と供給関数が以下のように与えられている。この時のちの間に答えなさい。

$$\text{需要関数： } Q_d = 36 - 2P$$

$$\text{供給関数： } Q_s = -8 + 4P$$

- (1) この市場の均衡価格と均衡数量を求めなさい。
- (2) この均衡点における、点の需要の価格弾力性を求めなさい。この点において需要は価格弾力的か非弾力的か？
- (3) (2)の情報をもとに、この市場で価格が上昇した場合、供給側が受け取る総収入が上昇するか下降するか議論しなさい。
- (4) 今、供給関数が $Q'_s = -36 + 4P$ にシフトした場合、新しい均衡を求め、その点における需要の価格弾力性を求めなさい。この点において価格は弾力的か非弾力的か？」

【問 2】次のような市場についてそれぞれ別の描き、この市場で価格設定能力がどちらにあるか説明しなさい。

- (1) 需要が完全に価格弾力的で供給が通常程度の価格弾力性を持つ場合。
- (2) 需要が通常弾力性を持ち、供給が非常に価格弾力的である場合。
- (3) 需要が通常弾力性を持ち、供給が完全に価格非弾力的である場合。
- (4) 需要が非常に価格弾力的であり、供給が通常程度の価格弾力性を持つ場合。

【問 3】今、図のように A,B,C がある財の市場で需要する消費者であるとする。(1) この 3 人の需要関数から、市場の需要関数を図によって導き出しなさい。(市場の需要の縦軸と横軸の変数を正しく定めること)(2) また、市場の需要と個々家計(個人)の需要の関係を言葉で表すとどう表現されるか述べなさい。

作図には次のページを利用し、他の解答とともに提出すること。代表的な市場価格を自分で選び、市場の需要が折れ曲がる点をわかりやすく描くこと。



